

高大接続から見た浙江省における大学入試改革： 「素質教育」を包含する「三位一体」入試を中心に

張, 小暁
九州大学大学院人間環境学府教育システム専攻：修士課程

<https://doi.org/10.15017/6788261>

出版情報：九州大学教育社会学研究集録. 25, pp.67-79, 2023-03-15. Seminar of Educational Sociology Department of Education, Graduate School of Human-Environment Studies Kyushu University

バージョン：

権利関係：

高大接続から見た浙江省における大学入試改革 —「素質教育」を包含する「三位一体」入試を中心に—

University Entrance Examinations reform in Zhejiang Province from the Point of High Schools · University
Articulation —Focusing on the "Trinity" Entrance Examination Including "Quality-oriented Education"

張小暁

1.問題の所在：「素質教育」を中心とする教育改革と大学入試改革

1977年に「全国統一入試」が再開されて以来、中国の大学入試は30年以上の発展を経て、徐々に制度が形作られてきた。1999年の大学生募集枠の拡大により、大学入試の競争が多少緩和されたが、大学入試は新たなジレンマに直面している。それは、急速な社会経済の発展や良質な教育資源の不足により、大学入試の競争は依然として厳しい状況にあり、さらに「大学進学」から「有名大学・人気専攻への進学」という、新たな競争が生じるのである(劉 2002:3-8)。また、グローバル人材の育成と国民全体の教育水準の向上に取り組んでいくという国家の目標と過度の知識偏重、試験中心の学校教育が齟齬する苦境に追い込まれている(劉 2011:1-6)。このように、現行の学校教育のカリキュラムや単一な大学入試制度は新たな不備を露呈した。変動する社会のなかで国家の目標に対応できる学校教育カリキュラムの探求や大学入試制度の多様化がこの時期の教育改革の大きなテーマとなってきた。

そして、近年教育改革のなかで「素質教育」というキーワードが頻繁に登場してきている。「素質教育」は2001年中国国务院の「基礎教育改革と発展に関する決定」(原語：关于基础教育改革发展的决定)で提唱された概念である。「素質教育」はあらゆる側面の質を向上させることを目的とした教育で、知育、徳育(思想的・道徳的資質)、体育(身体的健康・精神的健康)を重視して

おり、従来から批判されてきた受験に偏重した受験教育の是正である。さらに、初等教育に止まらず、中国教育部が「教育改革の深化と素質教育の全面的な推進に関する決定」(原語：关于深化教育改革全面推进素质教育的决定)を公布することで、基礎教育から始まった教育課程改革は高校教育にも波及した。以上より、高校教育での学習の達成を証明する大学入試のアプローチにも影響を及ぼしていることは容易に想像がつく。現行の大学入試制度が停滞しているとすれば、「素質教育」という新しい試みは実質的な成果を上げられないのではないかという疑問が出てくるだろう。言い換えれば、大学入試改革による新しい大学入試制度の提案がなければ、高校課程改革は実現できないと言っても過言ではない。

2.先行研究の状況：大学入試改革と「素質教育」との齟齬

大学入試改革における「素質教育」を中心とする教育課程改革の展開について、鐘(2005:18-20)は教育課程改革の実践において、ボトルネックとして大学入試制度の遅滞を挙げており、教育課程改革が大学入試制度に間接的に左右され、その成否は「受験教育」から脱却できるかどうかにかかっていると述べている。また、「素質教育」の導入に伴い、本来の入試制度は大学の人材選抜のニーズに合わなくなったため、多元的な入学制度は大学入試改革における必然的な要求であると王ら(2013:86-88)は明らかにしている。許(2015:26-30)は

「素質教育」の推進の妨げの中に大学入試改革の不十分さがあり、中国教育部の大学入試制度の改革方向は、「入学方式の多様性かつ大学の自律性の拡大」という理念が明示されているものの、なかなか実践に移せないでいると指摘した。

この背景で提唱された「三位一体」入試について、「三位一体」入試の最大の意義は、「一発勝負」という従来の大学入試を変えることにあり、浙江省で行われる大学入試改革の試行の参考となり、「三位一体」入試の実践は、中国の大学入試改革の重要なモデルとなっているが、公平性、効率性、社会的受容性の観点から、さらなる強化が必要である(艾 2014:25-28)と評価されている。また、余(2021 : 145-146)范ら(2020 : 75-76)、陳ら(2016 : 622-624)、徐(2014 : 38-39)は、寧波大学、Z 大学薬学院、温州医科大学、浙江農林大学を例として「三位一体」入試の実証調査が行われた。

近年、中国の大学入試改革に関する研究は、中国国内のみならず日本でも行われている。南部(2006 : 67-82、2011 : 151-168)の研究は中国の大学入学選抜制度の変遷を明らかにしており、自主学生募集制度は依然として選抜機能が重視され、教育の多様性を選定とした接続の視点は限定的であると述べている。また、倉元、尹(2020 : 83-90)は推薦入試の内容を踏まえて、多様化を志向する中国の大学入学選抜制度改革であるが、実際には、現在でも「全国統一入試」で高得点を取ることが大学入学のための唯一の手段であると言っても過言ではないと論じた。また、築(2020)は浙江省における「三位一体」入試の内容を説明し、多元採用の一環として試行されていると指摘した。

3.本研究の課題：浙江省において「素質教育」と大学入試改革との関連への考察

高校教育課程の目標と大学入試の目標の方向性が一致しており、両者の乖離を可能な限り是正するのが大学入試改革の重要な課題である。浙江省は教育課程改革のもとで、大学入試改革に積極的に着手しており、入試制度の重要な革新とされている「三位一体」入試が提起され、実験省となっていることが知られている。浙江

省の「三位一体」入試は中国の他省の参考になると同時に、さらなる強化が必要である指摘もある。「三位一体」入試の試みは「素質教育」の推進を実現することができるかどうか、あるいは、よりよく実現するためにいかに修正すべきか、「三位一体」入試制度の導入や構造を把握しないと行けない。

なお、中国の大学入試は省別で行われ、各省の大学入試の実施が異なるところがあるため、全体像を把握しにくいのは言うまでもない。浙江省は中国において比較的に教育水準の高い地域で、教育改革も他の省に先駆けていると言われている。

上記の先行研究の整理を踏まえ、本研究は高大接続の視点から中国の浙江省を注目し、大学入学選抜政策の動向を概観し、「素質教育」をキーワードとする高校課程改革と大学入試改革との関連を整理する。本稿では主に文献研究の方法を用いる。中国政府または地方政府が公布した関連文書を利用するとともに、いくつかの新聞記事を参考にする。

4.「三位一体」入試の由来

中国の教育課程改革は大学入試の内容や方式にも影響を及ぼしている。教育改革が差し迫った背景で、浙江省は教育課程改革のもとで大学入試改革に着手しており、その中でも「三位一体」入試は最も重要な革新だとされている。

4.1. 教育課程改革の背景

中国における現行の教育課程改革は、2001年の『基礎教育課程改革綱要(試行)』(原語：基础教育课程改革纲要(試行))は一部の実験地域で開始されたが、2004年から一部の省で、高校の教育課程改革の実験が始まり、2012年に全国で実施されることになった。

教育課程改革の核心にあるのは「素質教育」の浸透である。「素質教育」とは、学習者の道徳、知育、体育、美術、労働を全面的に発展させる教育である。中国語の「素質」は、日本語の「品質」「素養」と似たような意味を持っているため、「素質教育」とは、知識のみならず、あらゆる側面の質が重視し、子どもの全面的な成長

を促す教育であると言える。

「素質教育」の実践として、新高校教育課程が実施

される。その具体的なカリキュラムなどを示したのが以下

の表である。

表 3-1 新高校教育課程 (2003 年)

学習領域	必修科目	必修単位	選択Ⅰ単位	選択Ⅱ単位
言語と文学	国語	10	人材の多様化を求め る社会のニーズに基づき、 学生のさまざまな潜在能力と 発展のニーズに対応し、必修科 目を基礎として 各科目標準の分類ごとにレベ ルを分けて 選択モジュールを設定する。	学校が地域の社会・ 経済・技術・文化の 発展のニーズや学生の関心に応 じて、選択モジュールを設定す る。
	外国語	10		
数学	数学	10		
人文と社会	政治	8		
	歴史	6		
	地理 ⁽¹⁾	6		
科学	物理	6		
	化学	6		
技術	技術	8		
芸術	芸術・音楽・美術	6		
体育と健康	体育と健康	11		
総合実践活動	研究性学習と活動	15		
	コミュニティサービ ス	2		
	社会実践	6		

『普通高中課程方案』（試験）人民教育出版社,2003年,4頁をもとに筆者作成。

従来の高校教育課程と比較して、新高校教育課程は、単位制や選択科目制を導入し、「必修科目」「選択Ⅰ」「選択Ⅱ」と3つの部分に分かれていることがわかる。

必修科目は、「言語と文学」、「数学」、「人文と社会」、「科学」、「技術」、「芸術」、「体育と健康」、「総合実践活動」の8つの学習領域に分かれており、各学習領域に複数の科目が設置されている。例えば、「言語と文学」には「国語」「外国語」、「人文と社会」には「政治」「歴史」「地理」、「科学」には「物理」「化学」「生物」などがあり、それぞれ所定の単位数、合計116単位を取得することが必要である。

そして、「総合実践活動」の内、「研究性学習と活動」は、3年間で合計15単位を取得しなければならない。

「研究性学習と活動」では、生徒は社会・経済・技術・生活などの課題に着目し、自主的な探究を通じて、知識や経験を問題解決に活かすことが期待される。また、2単位を取得するためには、生徒は3年間で10日以上「コミュニティサービス」に参加することが必要である。「社会実践」では、生徒は毎学年1週間の軍事訓練や農業等の社会実践活動に参加すべきである。

もう一つ注目すべきなのは、「選択Ⅰ」「選択Ⅱ」の導入である。「選択Ⅰ」は「必修科目」の発展的な内容を含ん

でおり、生徒は通常、大学受験に必要な科目の発展的な内容を履修することになる。次に、「選択Ⅱ」には、地域や学校の状況、生徒の関心などを考慮した内容が含まれている。生徒は3年間での必修科目116単位に加え、「選択Ⅱ」から6単位以上を取得し、合計144単位を取得することで卒業となる。

このように、高校は単位制と選択科目を導入することで、教育課程改革における「素質教育」の要請に反応し、課程の多様化を目指している。また、新しい高校教育課程の実施と同時に、高校教育と密接に関係がある大学入試改革も検討されている。

第四回全国教育事業会議で国務院は「教育改革を深化させ素質教育を全面的に推進していくことに関する決定」（原語：《关于深化教育改革全面推进素质教育的决定》）では、「大学入学試験と評価制度改革を加速させ、『一回の試験で一生が決まる』状況を改める」と公布されている。また、「大学入試改革は、『素質教育』の全面的な実施を促進するための重要な措置である。『素質教育』を実施し、高等教育機関の人材選抜を支援し、大学の自治を拡大するという原則に基づき、大学入試制度改革を積極的に推進する」ことも謳った。

また、教育部は『高校新教育課程の実験をさらに強

化する指導』（原語：《关于进一步加强普通高中新课程实验工作的指导意见》）の中で、大学入試改革の原則を次のように指摘している。「大学入試改革の策定は、大学が科学的かつ公平的に人材を選抜することを促進し、『素質教育』の実施を確保し、教育課程改革を有効に反映する原則に従わなければならない」。このように、入試改革と「素質教育」との関連はますます緊密になり、学生の全面的な育成と総合的な能力の開発が大学入試改革の中心的な課題となっている。

4.2. 教育課程改革の背景で浙江省における大学入試改革

浙江省は本省の実情に合わせて、2006年から新高校教育課程を試行し、2008年に「浙江省の新教育課程での大学入試計画」を発表し、2009年から正式に大学入試改革を実施することになった。

教育課程改革の核心にあるのは「素質教育」であり、大学入試改革の方案もこの「素質教育」という要求に応えるために開発・実施されたものである。よって、「全国統一大学入試試験」（以下、「全国統一入試」と略。）、「高校学業水準試験」、「総合素質評価」の結果を統合して受験生の「素質」をテストしようとする、新たな入試方式とするものは、浙江省の大学入試改革の目玉となるものである。

まず、「全国統一入試」、「高校学業水準試験」、「総合素質評価」などの概要について明らかにする。

中国では毎年6月に各省で実施される「全国統一入試」（原語：「高考」）と呼ばれる大学入試の結果で合格が判定されることになる。浙江省の場合、浙江省教育考試院から刊行される『浙江省において大学別の募集状況及び各学科の入試結果』（原語：浙江省普通高校招生投档及专业录取情况）は前年度の募集状況をまとめた冊子であり、省内の受験生が出願できる大学・学科、募集人数、合格最低点数や順位が詳細に記載されている。省内の受験生はこの冊子を参考にして、6つの大学と各大学6つの学科まで志願が可能である。そして6月末に大学入試試験の個人成績と省内の全体の受験生における順位が開示されることになる。それと同時に教育考試院は各大学の募集人数や受験生の受験状況を勘案し、受験生が出願

できる大学を1期・2期・3期という三つのグループに分けられ、グループ別の合格ラインが発表される。このように、7月中旬から1期、7月下旬から2期、8月上旬から3期という順番で大学は入学者選抜が行われる（浙江省教育考試院,2016）。つまり、1期の合格ラインを超えた受験生は優先的によりレベルの高い大学に出願できることになる。しかし、合格ラインはあくまで合格最低点なので、志願倍率の高い大学または人気学科に入学するために、最低点を大幅に上回らないと合格する可能性は低いことになる。

近年、中国の大学進学率の上昇が著しく、大学入学者数も増加している。これに伴い、大学入試制度が高校教育に大きな影響を与えるようになった。こうしたプロセスで中国の大学入試が行われてきたが、各方面から批判が提出されており、その内容や焦点は時代によって変化している。1980年代には「高い進学率のみを追求する」という「受験教育」が批判され1990年代には「受験教育」の強化や文系・理系への偏りが指摘され、21世紀以降は「生徒の過剰な負担」や「一発勝負」が指摘されるようになりました。これらの問題を是正するために中国はさまざまな教育改革を行ってきた。高校段階の教育改革として、「高校学業水準試験」、「総合素質評価」が導入されることになった。

「高校学業水準試験」は、それ以前に実施されていた「高校卒業一斉試験」に代わるものとして実施され、国家の承認を経て、省レベルで実施する高校の教育課程の達成状況を評価する試験である。「高校卒業一斉試験」は、前述した「普通高中課程方案」により、国語、数学、外国語、政治、物理、化学、生物、歴史、地理の9科目と、物理、化学、生物の実験操作で構成されている。体育は、「体育教育要綱」に定められた内容について、各学校が独自に試験を行うことになっている。全ての高校生は学業水準試験を受けなければならないとされている。これらの試験と、体育の成績で合格した生徒には、一般的に高校卒業証書が授与される。試験に合格できなかった生徒は、高校卒業資格が得られず、大学入試の受験資格も得られないという不利な状況になる。

「高校学業水準試験」は、「高校卒業一斉試験」に代わる試験として2004年に一部の省で導入され、2010年

からは多くの省で実施されている。「高校学業水準試験」と「高校卒業一斉試験」は実施方法、試験科目など多くの点で変わらないが、成績の用途という点では両者には大きな違いがある。「高校卒業一斉試験」においては、その成績は高校の卒業資格の取得にのみ使用され、大学の入学資格には関係しない。一方、現在の高校では、高校生の学力を測るために「高校学業水準試験」が行われており、その成績は高校卒業を証明できるのみならず、大学入学選抜にも利用されている。具体的には、「高校卒業一斉試験」は合格か不合格かに分けられているが、「高校学業水準試験」は各科目の成績がA、B、C、D、Fという5つの等級に分けられ、F等級は不合格になる。「高校学業水準試験」でA等級を多く取得すると、大学入試で有利になるとされている。

「総合素質評価」とは、高校生の全面的に成長する

表 4-1 「総合素質評価」の構成

評価内容	評価項目
道徳品質と公民素養	法律や規律の遵守、学習態度、責任意識、ボランティア活動などへの参加状況
課程履修と学習能力	出勤状況、学業水準試験の成績、毎学年期末試験の成績
運動健康と審美表現	体質測定の結果、芸術活動への参加状況
実践能力と創造精神	研究性活動、社会实践、コミュニティサービスへの参加状況

『浙江省普通高中学生総合素質評価実施指導意見』をもとに筆者作成。

このように、受験科目のみに偏重することや試験成績が唯一の評価手段とされることを防ぐために、「高校学業水準試験」「総合素質評価」は導入されているが、この2つの措置は如何に大学入試で利用されるかという問題が提起された。

浙江省は省の教育現状や大学入試制度そのものの複雑さを考慮し、具体的な実施において積極的な姿勢で実施しつつある。例えば、2009年には「高校学業水準試験」と「総合素質評価」を入試の参考とし、2010年には浙江省教育考試院が一部の大学と共に会議を開き、「三位一体」入試の発想について提案した。しかし、当時大学入試案内には「高校学業水準試験」と「総合素質評価」も選考項目とすることを明記していたものの、「全国統一入試」の成績によって優先的に合否を決定する学校もあった（冯 2014:151-157）。「高校学業水準試験」と「総合

状況を観察し評価するものである。「素質教育」の実施を推進し、学生の個性を育成することを目的としている。

「総合素質評価」は、一般的に「道徳品質と公民素養」「課程履修と学習能力」「運動・健康と審美・表現」「実践能力と創造精神」という側面にわたって行われている。それぞれの評価項目は、いくつかの内容に細分化されており、各項目はA（優良）、P（合格）、E（不合格）となっている。「総合素質評価」により、得点が同じ場合に優先的に入学許可されることになる。また、「道徳品質と公民素養」が不合格の場合、大学入学試験に参加できないことになる。

「総合素質評価」の具体的な構成について、地域や学校によって多少異なるが、浙江省を例として評価項目や内容は表4-1のようになる。

素質評価」の結果は、大学入試において非常に限られた役割しか担っていないと言えよう。

その後、浙江省は『浙江省における教育事業発展の「第十二次五カ年」計画』（原語：《浙江省教育事业发展“十二五”规划》）を發表し、「大学入試において大学の自治を改革の指針とし、多様な大学入試方式を模索し、『高校学業水準試験』と『総合素質評価』の役割を徐々に改善する」ことを指摘した。また、『国家中長期教育改革發展綱要（2010-2020）』（原語：《国家中长期教育改革和发展规划（2010-2020）》）でも、『「三位一体入試」は大学入学制度の改革を突破口とする』こと、また、大学入試改革の深化が隘路にある中、「三位一体」入試方式の実質的な実施が急務となっていることが指摘された。

5. 「三位一体」入試の導入

「三位一体」入試とは、「全国統一入試」、「高校学業水準試験」、「総合素質評価」を一体化し、一定の比例で換算した総合得点によって、大学が事前に個別の入学許可を出すという新しい入試方式である。この入試方式は多元性と包括性を目指し、評価対象、評価内容、評価基準、評価方法の4つの次元で、その多元性を具体的に反映している。また、包括性とは、第一に、「全国統一入試」、「高校学業水準試験」、「総合素質評価」の組み合わせで評価すること、第二に、「総合素質評価」が高校による「総合素質評価」と大学による「総合素質試験」で

構成されることである。

浙江省では、2011年から杭州師範大学と浙江工業大学の試行を初めとして、「三位一体」入試を推進している。翌年には、合計14所の大学と3所の短期大学はさらに「三位一体」入試制度を導入し、この試みが社会から広く注目を集めている。実際、「三位一体」入試の規模は出願できる大学、出願できる専攻、入学者数のいずれにおいても急速に拡大している。2015年まで北京大学、清華大学、浙江大学、上海交通大学など52所の大学が、この入試方式を導入しており、「三位一体」入試の状況は以下の表になる（羅2016：34-38）。

表 5-1 浙江省における「三位一体」入試の状況について

年度	大学数	募集人数
2011年	2大学	260人
2012年	17大学	1300人
2013年	22大学	1885人
2014年	37大学	3500人以上
2015年	52大学	5200人以上

6. 「三位一体」入試の発展

浙江省の「三位一体」入試では、通常、大学は「全国統一入試」の結果の割合を50%とし、残りの50%は「高校学業水準試験」の結果と「総合素質評価」の結果である。例えば、2011年、杭州師範大学では、出願条件を満たした受験者を総合得点の高いものから低いものへとランク付けし、入学を許可した。総合得点は、「全国統一入試」の得点が50%、「総合素質評価」と「高校学業水準試験」の得点がそれぞれ30%と20%で、最終的に三つの得点が100点満点に換算して算出される。

2014年、浙江省は『浙江省における大学入学試験改革の深化方案』（《浙江省深化高校考试招生制度综合改革试

点方案》）を公表し、「総合得点に占める『全国統一入試』の得点の割合が原則として、50%以上でなければならない」ことを規定した。以下の表によると、「三位一体」入試が実施して以来、三つの評価結果の割合は一定ではなく、大学によって異なるのみならず、同じ大学内でも必要に応じて調整されることが多いということが明らかになった。

また、もう一つ注目すべきトレンドがある。それは、「三位一体」入試の推進に伴い、多くの大学は徐々に「総合素質評価」の結果の比重を高め、「高校学業水準試験」の結果の比重を弱める一方、「全国統一入試」の位置づけが比較的安定してきたことである。

表 6-1 2012年—2016年「三位一体」入試における総合成績の比例について
（「全国統一入試」%：「総合素質評価」%：「高校学業水準試験」%）

	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年
浙江工業大学	50:30:20	50:30:20	50:30:20	50:30:20	50:30:20
杭州電子科技大 学	50:30:20	50:30:20	50:35:15	50:35:15	50:35:15
浙江理工大学	50:20:30	50:30:20	50:30:20	50:30:20	50:30:20
浙江師範大学	50:30:20	50:35:15	50:35:15	50:35:15	50:40:10
杭州師範大学	50:30:20	50:30:20	50:30:20	50:30:20	60:30:10
温州大学	60:10:30	50:30:20	50:30:20	50:30:20	50:30:20
浙江大学			80:10:10	60:30:10	60:30:10

出典：大学ホームページをもとに筆者作成

要するに、大学が自らのニーズに応じて「三位一体」入試の総合得点の各要素を適時に調整することは、この入学方式における大学の自主性・主体性を十分に反映するものである。一方で、大学側は学生の「素質」を総合的に評価することを徐々に重視することも分かる。

もう 1 つ注目すべきなのは、「三位一体」入試における「総合素質評価」が高校側による「総合素質評価」と大学側による総合試験、2 つの部分で構成され、応募資格を審査するという役割も果たしていることである。

高校側による「総合素質評価」は高校教育課程改革において重要な位置を占めており、「三位一体」入試の一環として、応募条件に直結し、初期選抜の大きな基盤の 1 つとなっている。大学側による「総合素質試験」は、人材育成の位置づけやニーズに合わせて、この入試方式の重要な部分となっている。また、大学は「高校学業水準試験」の結果に基づいて、選考基準を設けるが、一般的に同じ大学においても専攻によってある程度の違いがある。例えば、2016年に杭州師範大学は「高校学業水準試験」への要求について、小学校教育専攻の場合、「高校学業水準試験」の成績が 7AIB 以上、学前教育専攻の場合、「高校学業水準試験」の成績が 5AIB 以上となった。

「三位一体」入試方式は出願の自由度が高い、リスクが低いというメリットを備えていると言われている。基本的な流れは、まず、受験者は応募条件を満たした大学に申請する。次に、受験者は大学が主催する「総合素質試験」を受けた後、大学の公式サイトで合格するかどうかを確認することができる。「全国統一入試」が終わって、個人成績が開示された後、「総合素質試験」に合格した者は、志望大学に出願することが可能である。最後、出願した者の中から、「全国統一入試」、「高校学業水準試験」、「総合素質評価」、「総合素質試験」によって構成される成績に基づき、大学が選考を行うことになる。注意しなければならないのは、入学契約を締結する必要がある自主学生募集（「全国統一入試」とは別に、各大学が独自に入試試験や面接などを行う学生選抜方式）とは異なり、「三位一体」入試の受験生は、「全国統一入試」の結果が知らされて、上記の方法で出願することができるのみならず、「全国統一入試」の成績で、前述した 1 期、2 期、3 期という一般的流れで出願することもでき

る。つまり、2 つの入学方式を併用することが可能で、選択の幅が広がることになる。

7. 「三位一体」入試の実態

7.1. 特筆すべき点

最初に「三位一体」入試を利用する受験生は、初期の入試制度がまだ十分に確立されていないこと、大学による「総合素質評価」が重視されていること、規模が小さくて競争が激しくないことなどの原因により、一般の受験生より低い「全国統一入試」点数で入学したことがわかる。例えば、2011年に第一陣とした杭州師範大学では、「三位一体」入試で入学した者と「全国統一入試」で入学した者と比較したところ、「全国統一入試」の成績について、前者の方が、文系で約 33.5 点、理系で約 56 点、低くなっていることが判明した。実際、「三位一体」入試の先駆者である二つの大学において、「三位一体」入試で入学した者の平均点は、一般の「全国統一入試」で入学した者より約 34 点低く、この 2 種類の入学者の「全国統一入試」の成績の差はかなり大きいと言えよう（紀 2015）。

また、浙江工業大学と杭州師範大学では、「三位一体」入試の第一期生の在学中の成績についてフォローアップが行われており、多くの「三位一体」入試の入学者は、大学入学時の成績が一般の「全国統一入試」の入学者に及ばないにもかかわらず、自分の潜在能力を發揮し、優位に立つことができたという結果が出ている。また、杭州師範大学の小学校教育専攻の場合、最初の二年間は「三位一体」入試の入学者と一般の「全国統一入試」の入学者の間にほとんど差がないが、三年目以降、「三位一体」入試の入学者のほとんどが、成績の面で優位に立ち始めることが明らかになった。また、「三位一体」入試の卒業生三名が、省レベルの優秀卒業生として推薦されており、クラス全体の半数以上が大学レベルの優秀卒業生として推薦されていることがわかった（林 2015:61-64）。もう一つの実験校である浙江工業大学では、「三位一体」入試の入学者が一般入試の入学者に比べ、1 年目から優位に立ち始め、学部時代の成績は 9 割近くが平均以上になるため、全体的な質は一般入試の入学者より優

れているということが判明した（紀 2015）。

さらに、「三位一体」入試の入学者は、さまざまな学習・社会活動にも活躍しているということがわかった。浙江工業大学が行った調査によると（呂ら 2014:98-104）、「三位一体」入試の入学者の 98.41%が在学中にさまざまな社会実践、サークル活動やボランティア活動に参加したことがある。また、学生自治会の構成員の多くは「三位一体」入試の入学者であり、約 76.19%が、在学中に学生自治会の役員を務めたということもわかった。

そして、浙江省の「三位一体」入試の一期生の卒業後の進路も注目されるようになった。特に就職に関しては、「三位一体」入試の一期生への追跡調査によると、大多数の学生が専攻に関連した仕事を選び、働いていることがわかった。例えば、杭州師範大学の 2011 年度の就学前教育専攻では、「三位一体」入試で入学した 40 名の学生全員が、卒業シーズンに進路選択に直面した際、就学前教育に大きく関わる仕事に就いている。進学に関しては、浙江工業大学の 2011 年度の「三位一体」入試の入学者のうち、24 人が卒業後に大学院へ進学し、大学院への進学率は 14.44%で、大学全体より 5ポイント上回っていることがわかった（盛 2016:67-71）。

7.2. 再検討すべき点

まず、「三位一体」入試の適用性についての問題点である。「三位一体」入試には独自の適用性があるが、すべての教育機関や専攻がこの入試方法を活用できるわけではないのである。実験校の教員によると、「三位一体」入試の入学者は、「全国统一入試」の点数が引き下げられることが多いため、数学や物理など理工系の専門コースでは、学生の学習能力が一般入試の学生に追いつかないものもある（辺 2015:61-65）。この事情を通じて、「三位一体」入試を実施するに当たって、「全国统一入試」の成績に対する要求が低すぎたはいけないことだと考えられる。「全国统一入試」の成績の比率が 50%以上を維持することは、ここでも考慮されているのであろう。そうでなければ、「三位一体」入試は、不正問題になる恐れがあるだけでなく、これまでの多様な入学方式の改革の破綻も招きかねない。また、学生の成長や大学教育にも悪い影響を与えるのであろう。

次に、「三位一体」入試の「総合素質評価」のコストについての問題点である。大学側は運営コストがかかる。大学による総合素質試験は「三位一体」の核心部分であり、大学の自主性を集中的に表現したものである。なお、「総合素質」を評価するためには、筆記試験や面接などを実施することが最も適切な方法である。通常、大学は多くの人的・物的・資金的資源を投入する必要がある、運営コストも莫大なものになる可能性がある。特に近年は、「三位一体」入試の規模が拡大しているのに応じて、大学は、事前広報、願書整理、資料審査、筆記試験・面接試験の実施などの費用も増えつつ、プロセスもより複雑になる。そのため、「三位一体」入試では、大学側にとってコスト削減と効率化も重要な課題となっている。一方では、受験生や家族側は参加コストがかかる。彼らの参加コストは、金銭的な面のみならず、時間的、機会的なコストなども含まれている。金銭的には、応募条件を満たした生徒の家庭すべてが、人力的・経済的な負担をして自分の住所から遠く離れた大学まで足を運び、大学の「総合素質試験」を受けようとするわけではない。時間的には、「全国大学入試」の受験勉強の重要な時期に、「三位一体」入試の準備に時間を費やすのは多少のリスクを伴うといえるだろう。さらに、機会的には、「三位一体」入試は、これまでの自主学生募集とは異なり、本学への入学を確約するものではないが、「三位一体」入試で、大学による「総合素質試験」に合格する受験生の大多数は、「三位一体」入試の大学を第一志望校として出願することになる（辺 2015:61-65）。

さらに、「三位一体」入試における「総合素質試験」の入試担当者の専門性についての問題点である。「三位一体」入試の入試担当者のプロフェッショナルリズムには疑問の余地があると考えられる。入試担当者は、大学の教員や事務職員が中心となっている。審査に参加できる理由としては、大学での教育経験や学校での管理職経験が豊富からだ、総合的な評価に関する専門的な知識も持ち合わせていない恐れがある。「三位一体」入試の担当者が、この入試制度を上手に運用し、「素質」のある学生を見分ける能力を持ち、正しい判断と選抜ができるようになるために、どのような専門知識や専門訓練を積むべきかについて、公的な機関では、まだ決定的な結論

は出ていない。このことは、言うまでもなく新しい制度である「三位一体」入試が、大学入試改革の重大な制約となるであろう。

8. 「三位一体」入試の意義

第一に、「三位一体」入試は、入試方式の多元化を図るための大胆な試みである。「三位一体」入試は、「全国統一入試」、「高校学業水準試験」と「総合素質評価」の結果に基づいて、単一の評価方法を変え、評価内容を充実させ、評価過程の総合性を強調するものである。また、「高校学業水準試験」と「総合素質評価」の結果が総得点に一定の割合を占めるため、従来の全国統一試験の得点のみで評価するという欠点を打破し、「三位一体」入試はその名の通り、従来の「一発勝負」の大学入試制度が受験者に与える影響を弱めることができると言えよう。さらに、「三位一体」入試の適用範囲は、国内の有名大学—地方の大学—高等専門学校(日本の短期大学に相等)をカバーすることも実現した(王ら 2013:86-88)。

第二に、「三位一体」入試は、入学生タイプの多様化を推進するのである。「全国統一入試」で、専攻の倍率や募集人数などの入学難易度を考慮して、より低い必要条件の専攻に高得点で出願したり、「専攻調整」(原語: 专业调剂)を申し込んだりしてリスクヘッジする受験生もいるのである。そのため、新入生が選んだ専攻に満足していなかったり、学部変更をするチャンスに飛びついたりすることがある。実験校の調査によると、「三位一体」の入学者の50%以上が「全国統一入試」の入学者より低い全国統一試験の得点で入学したが、「三位一体」の入学者はその潜在能力を生かし、一般入試の入学者の質を上回ることも多かったという(冯 2014:151-157)。「三位一体」入試は、従来の「全国統一入試」では見極められなかった「素質」のある人材を発見し、大学における専門分野の人材育成を促進する上で重要な役割を果たすことができることは明らかである。

第三に、「三位一体」入試は、人材選抜における大学の自治を拡大する。前述のように、「三位一体」入試において、出願資格の設定や「全国統一入試」の成績の比例の引き下げなど、大学入試における自主性を発揮して

いる。「素質」のある受験生に、その能力を発揮する機会を与えることは、大学が受験生を専攻の特性やニーズと結びつけて配慮することの具体的な現れであると言える。特に、大学による「総合素質試験」の実施方法と内容は、大学の自治を顕著に表している。また、大学入学者選抜において、大学の実力を反映することより重要なのは、人材選抜の手段を通じて、公平・公正という社会的認識が深められることである。「三位一体」入試が適切に推進されることができれば、大学の自主学生募集で従来の「不正問題」の足かせを外し、大学入試制度の整合性をさらに図る効果を望めるのであろう。最後に、「三位一体」入試は、大学による潜在能力を持つ、「素質」のある学生の選抜を助長し、大学専攻の建設と発展を促進し、各大学の同じ専攻の均質化の傾向を克服する可能性がある。

第四に、「三位一体」入試は、学生一人ひとりの成長を積極的に導くのである。「三位一体」入試は多様性、包括性、統合性という特徴を備え、科学的かつ公正なアプローチで選考が行われており、学業成績と「総合素質評価」を組み合わせ、高校教育における「素質教育」の実施と生徒の個々の成長を積極的に指導するのに役立つことができると考えられる。また、「三位一体」入試は、受験生が将来の職業の方向性を早期に理解させ、自分の興味やキャリアへの志向を探ることを可能にすると言えよう。

以上、「三位一体」入試は、多元的な評価を持つ入試方式として、「一発勝負」という従来の大学入試制度を打破しようとし、浙江省における複数の入試方式に新たな一歩が踏み出されたのである。同時に、「三位一体」入試の実践は、浙江省において新たな大学入試改革のための実践経験を蓄積し、条件を整えた。

終わりに

以上本稿で、高大接続の視点から、中国が推し進める「素質教育」をキーワードとする教育課程改革と浙江省における大学入試改革との関連、また浙江省における大学入試改革の実態について論じてきた。本稿で論じたことをまとめると以下の内容を指摘できる。

浙江省は、中国が求める「素質教育」をキーワードとする教育課程改革に積極的に対応し、高校教育と大学入試2つの面で教育改革をし始めた。まず、高校教育について、単位制や選択科目制を含める「新高校教育課程」を導入することで、「素質教育」の要請に応じて学生の自主性、課程の多様化を目指している。また、高校教育は「受験教育」から「素質教育」へ転換するため、「高校学業水準試験」や「総合素質評価」が整備された。

「高校学業水準試験」は、国語、数学、外国語、思想政治、歴史、地理、物理、化学、生物という全科目を対象とし、体育、芸術、技術の試験も実施されており、一部の受験科目の偏重を防ぐための措置と見られている。

「総合素質評価」は「道徳品質と公民素養」「課程履修と学習能力」「運動・健康と審美・表現」「実践能力と創造精神」などの側面にわたって、試験成績が生徒評価の唯一の基準とされることを改めるための措置と見られている。浙江省は高校教育における教育改革が行われていると同時に、高校教育と密接に関係がある大学入試改革も検討されており、「三位一体」入試という新たな入試方式が提唱されている。「三位一体」入試は、高校教育の範疇に属する「高校学業水準試験」や「総合素質評価」が大学入試で利用され始め、「高校学業水準試験」、「総合素質評価」、「全国統一入試」三つの評価手段を一体化する入試方式になっている。このように、浙江省において、「素質教育」をキーワードとする教育課程改革と大学入試制度との関連をますます結びつけられるようになっている。次に、「三位一体」入試の実態について、浙江工業大学と杭州師範大学の実証調査により、「三位一体」入試を通して比較的に「素質」のある者が選抜されたということが判明した。しかし、適用性、コスト、入試担当者の専門性などの面では、「三位一体」入試は「素質教育」の要請をどれくらい実現しているのかについて、まだ議論の余地がある。

浙江省では2017年にさらに新しい大学入試改革制度が導入され、「素質教育」の展開及び「素質教育」と大学入試との関連を検討するためにそれも注目すべきだという課題が残っている。

<注>

- (1) 高校地理課程標準（原語：普通高中地理课程标准）により、必修科目地理は「人文と社会」、「科学」2つの領域に属する。
(http://www.moe.gov.cn/srcsite/A26/s8001/200303/t20030331_167349.html,2023.01.30.)

<引用文献>

- 倉元直樹・尹得霞, 2020, 「わが国の高大接続改革と中国, 韓国, 台湾の大学入試多様化政策—特に中国の入試改革との同型性, 共時性を中心に—」『東北大入試研究ジャーナル』第31号, pp.83-90.
- 南部広孝,2006, 「中国の大学入学者選抜における推薦入学制度の変遷」『大学論集』第37号, pp.67-82.
- 南部広孝,2011, 「東アジア諸国における高大接続」『高等教育研究』第14号, pp.151-168.
- 築美浦子,2020, 「中国の高大接続改革」北京研究連絡センター4.19.
(https://www.overseasnews.jsps.go.jp/wp/wpcontent/uploads/2020/04/16.19.yana_mihoko.bjs_pdf,2022.07.16)
- 刘海峰, 2002, 「高考改革的教育与社会视角」『高等教育研究』第5号, pp.3-8.
- 刘海峰, 2011, 「高考改革:公平为首还是效率优先」『高等教育研究』第5号, pp.1-6.
- 钟传,2005, 「高考形式与内容改革—基于利益博弈的视角」『教育研究』第1号, pp.18-20.
- 王国华・裴学进,2013, 「地方高校“三位一体”招生制度及其完善策略」『黑龙江高教研究』第3号, pp.86-88.
- 许士荣, 2015, 「浙江省加快推进三位一体招生模式改革的若干思路」『中国高教研究』第6号, pp.26-30.
- 艾乐,2014, 「浙江省“三位一体”高校招生评价体系探析」『教育与考试』第3号, pp.25-28
- 余方悦, 2021, 「高校三位一体招生及其改进—以宁波大学为例」『文教资料』第8号, pp.145-146.
- 范晓辉・沈丽娟, 2020, 「Z大学药学院三位一体招生质量的实证分析与研究」『中国高等医学教育』第6号, pp.75-76.
- 陈峰・杨春燕, 2016, 「温州医科大学三位一体综合评价招生实证分析」『高教研究』第8号, pp.622-624.
- 徐慧燕, 2014, 「浙江省三位一体综合评价招生制度执行

- 现状研究—以浙江省农历大学为例」『社会调查』第4号, pp.38-39.
- 冯成火, 2014, 「浙江省“三位一体”招生模式改革的思考 and 探索」『教育研究』第10号, pp.151-157.
- 罗青意, 2016, 「浙江省三位一体招生模式中的综合素质析论」『教育与考试』第3号, pp.34-38.
- 林上洪, 2015, 「浙江高校自主招生的模式创新: “三位一体”综合评价」『教育与考试』第3号, pp.61-64.
- 盛兰芳, 2016, 「高校“三位一体”综合评价招生改革跟踪研究」『教育评论』第9号, pp.67-71.
- 边新灿, 2015, 「新一轮高考改革浙江、上海方案深度比较研究」『中国考试』第2号, pp.61-65.
- 吕慈仙·乐传永, 2014, 「高校“三位一体”综合评价招生模式改革的分析: 基于利益博弈的视角」『教育研究』第1号, pp.98-104.
- 纪驭亚, 2015, 「入学时高考分比统考生平均低 34 分离校时成绩和综合素质整体胜出」『浙江在线-今日早报』9.15.
- 周竞, 2012, 「浙江 14 高校尝试“三位一体”招生」『京华时报』03.14.
- 中華人民共和國國務院, 2001, 「关于基础教育改革发展的决定」.
(http://www.gov.cn/gongbao/content/2001/content_60920.htm, 2023.01.30.)
- 中華人民共和國國務院, 2001, 「关于深化教育改革全面推进素质教育的决定」.
(http://www.moe.gov.cn/s5142/s5865/202211/t20221114_989207.html, 2023.01.30.)
- 中華人民共和國教育部, 2003, 「基础教育课程改革纲要(试行)」.
(http://www.moe.gov.cn/srcsite/A26/s8001/200303/t20030331_167349.html, 2023.01.30.)
- 中華人民共和國教育部, 2005, 「关于进一步加强普通高中新课程实验工作的指导意见」.
(http://www.moe.gov.cn/srcsite/A06/s3732/200503/t20050321_167353.html, 2023.01.30.)
- 浙江省教育厅, 2012 「浙江省教育事业发展“十二五”规划」.
(http://jyt.zj.gov.cn/art/2012/2/16/art_1532994_27483876.html, 2023.01.30.)
- 中華人民共和國國務院, 2011, 「国家中长期教育改革和发展规划(2010-2020)」.
(http://www.scio.gov.cn/xwfbh/xwfbh/wqfbh/2014/20140904/xgzc31480/Document/1379953/1379953_1.htm, 2023.01.30.)
- 浙江省教育厅, 2013, 「浙江省教育厅办公室关于印发普通高中学生成长记录与综合素质评价实施指导意见的通知」.
(http://jyt.zj.gov.cn/art/2013/1/17/art_1532973_27485058.html, 2022.07.16.)
- 浙江工業大學, 2012, 「2012年度浙江工業大學三位一体入試實施方法」03.01.
(<http://zs.zjut.edu.cn/html/n894.html>, 2022.07.10.)
- 浙江工業大學, 2013, 「2012年度浙江工業大學三位一体入試實施方法」03.15
(<http://zs.zjut.edu.cn/html/n1004.html>, 2022.07.10.)
- 浙江工業大學, 2014, 「2012年度浙江工業大學三位一体入試實施方法」01.20
(<http://zs.zjut.edu.cn/html/n1241.html>, 2022.07.10.)
- 浙江工業大學, 2015, 「2012年度浙江工業大學三位一体入試實施方法」01.19
(<http://zs.zjut.edu.cn/html/n1423.html>, 2022.07.10.)
- 浙江工業大學, 2016, 「2012年度浙江工業大學三位一体入試實施方法」02.03
(<http://zs.zjut.edu.cn/html/n1623.html>, 2022.07.10.)
- 杭州電子科技大學, 2012, 「2012年度杭州電子科技大學三位一体入試實施方法」06.03.
(<http://zhaosheng.hdu.edu.cn/art.php?aid=314>, 2022.07.10.)
- 杭州電子科技大學, 2013, 「2013年度杭州電子科技大學三位一体入試實施方法」06.07.
(<http://zhaosheng.hdu.edu.cn/art.php?aid=325>, 2022.07.10.)
- 杭州電子科技大學, 2014, 「2014年度杭州電子科技大學三位一体入試實施方法」06.07.
(<http://zhaosheng.hdu.edu.cn/art.php?aid=324>, 2022.07.10.)
- 杭州電子科技大學, 2015, 「2015年度杭州電子科技大學三位一体入試實施方法」06.07.
(<http://zhaosheng.hdu.edu.cn/art.php?aid=660>, 2022.07.10.)
- 杭州電子科技大學, 2016, 「2016年度杭州電子科技大學三

- 位一体入試實施方法」06.07.
(<http://zhaosheng.hdu.edu.cn/art.php?aid=1073>,2022.07.10.)
- 浙江理工大学,2012,「2012年度浙江理工大学三位一体入試實施方法」07.02.
(<https://www.doc88.com/p-4834704013211.html>,2022.07.10.)
- 浙江理工大学,2013,「2013年度浙江理工大学三位一体入試實施方法」
(05.30.<http://edu.people.com.cn/n/2013/0530/c1053-21679609.html>,2022.07.10.)
- 浙江理工大学,2014,「2014年度浙江理工大学三位一体入試實施方法」06.02.
(https://gaokao.eol.cn/zhe_jiang/dongtai/201402/t20140226_1078933_3.shtml,2022.07.10.)
- 浙江理工大学,2015,「2015年度浙江理工大学三位一体入試實施方法」05.15.
(https://gaokao.eol.cn/zhe_jiang/dongtai/201502/t20150204_1227294_4.shtml,2022.07.10.)
- 浙江理工大学,2016,「2016年度浙江理工大学三位一体入試實施方法」07.02.
(https://gaokao.eol.cn/zhe_jiang/dongtai/201602/t20160226_1078933_3.shtml,2022.07.10.)
- 浙江師範大學,「2012年度浙江師範大學三位一体入試實施方法」,03.16.
(<http://zs.zjnu.edu.cn/2012/0203/c6886a148973/page.psp>.)
- 浙江師範大學,2013,「2013年度浙江師範大學三位一体入試實施方法」,04.16.
(<http://zs.zjnu.edu.cn/2013/0203/c6886a148973/page.psp>,2022.07.10.)
- 浙江師範大學,2014,「2014年度浙江師範大學三位一体入試實施方法」,03.8.
(<http://zs.zjnu.edu.cn/2014/0203/c6886a148973/page.psp>,2022.07.10.)
- 浙江師範大學,2015,「2015年度浙江師範大學三位一体入試實施方法」,03.6.
(<http://zs.zjnu.edu.cn/201650203/c6886a148973/page.psp>,2022.07.10.)
- 浙江師範大學,2016,「2016年度浙江師範大學三位一体入試實施方法」,02.03.
(<http://zs.zjnu.edu.cn/2016/0203/c6886a148973/page.psp>,2022.07.10.)
- 杭州師範大學,2012,「2012年度杭州師範大學三位一体入試實施方法」04.06
(<https://www.doc88.com/p-9827277924634.html>,2022.7.10.)
- 杭州師範大學,2013,「2013年度杭州師範大學三位一体入試實施方法」04.05
(<http://undergrad.hznu.edu.cn/Details/20160524/F46443524DF74A60F8FA31EF2706CA1F.html>,2022.07.10.)
- 杭州師範大學,2014,「2014年度杭州師範大學三位一体入試實施方法」04.24
(<http://undergrad.hznu.edu.cn/Details/20160524/DCBFDDBE5F68D18A43F6B7FF6A06BEF90.html>,2022.07.10.)
- 杭州師範大學,2015,「2015年度杭州師範大學三位一体入試實施方法」02.04
(<http://undergrad.hznu.edu.cn/Details/20160524/35C28BBFBCFB2136AA1685D935075245.html>,2022.07.10.)
- 杭州師範大學,2016,「2016年度杭州師範大學三位一体入試實施方法」04.08
(<http://undergrad.hznu.edu.cn/Details/20160524/25B3398B38147681705C8E4D0DB04CFB.html>)
- 溫州大學,2012,「2012年度溫州大學三位一体入試實施方法」03.06.
(<http://zs.wzu.edu.cn/info/1144/3204.htm>,2022.07.10.)
- 溫州大學,2013,「2013年度溫州大學三位一体入試實施方法」03.20.
(<http://zs.wzu.edu.cn/info/1144/3203.htm>,2022.07.10.)
- 溫州大學,2014,「2014年度溫州大學三位一体入試實施方法」03.02.
(<http://zs.wzu.edu.cn/info/1144/3202.htm>,2022.07.10.)
- 溫州大學,2015,「2015年度溫州大學三位一体入試實施方法」03.01.
(<http://zs.wzu.edu.cn/info/1144/3201.htm>,2022.07.10.)
- 溫州大學,2016,「2016年度溫州大學三位一体入試實施方法」03.01.
(<http://zs.wzu.edu.cn/info/1144/3200.htm>,2022.07.10.)
- 浙江大學,2014,「2014年度浙江大學三位一体入試實施方法」04.01
(<https://zdzsc.zju.edu.cn/2014/0401/c3301a939372/page.htm>,2022.07.10.)

022.07.10.)

浙江大学,2015,「2015年度浙江大学三位一体入試実施方法」04.05

(<https://zdzsc.zju.edu.cn/2015/0405/c3301a939383/page.htm>,
2022.07.10.)

浙江大学,2016,「2016年度浙江大学三位一体入試実施方法」05.17

(<https://zdzsc.zju.edu.cn/2016/0517/c3301a939400/page.htm>,
2022.07.10.)